

2022



コミュニティで支え子ども若者の未来を拓く WAM助成金事業活動報告書



応援してくださった皆様に感謝をこめて



あなたのために
気づけば、自分(家族)の声(思い)が小さくなってしまっていることありませんか？

その人声から はじめよう

聴くことも深く学ぶ 全6回講座
各回 定員30名

開催日程

- 9/18日 13:30-16:30 ナラテック実践研修センター(原AC) 橋山克実さん、倉田真子さん、田原浩一さん
- 10/7日 19:00-21:00 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
- 11/13日 13:30-16:30 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
- 12/2日 19:00-21:00 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
- 1/6日 19:00-21:00 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃
- 2/3日 19:00-21:00 〃 〃 〃 〃 〃 〃 〃

お申込み <https://forms.gle/19m308558d6m257>

主催 NPO法人どりいむスイッチ

“繋がり”につなげる>>>

ゆるっと わかもの 相談室

お友だち登録後
相談できます

“繋がり” に “つなぐ”



NPO法人どりいむスイッチ

子どもと若者の未来が拓けるよう 大人が応援する コミュニティをつくる



特定非営利活動法人 どりいむスイッチ
理事長 中村 友紀

2012年に雑居ビルの小さなスペースを借りて、若者のための居場所を、個人のボランティア活動として開設してから約10年が経ちました。当時、フリースペースとして気軽に行ける場所が地域になかったことがきっかけでした。

ひきこもりや不登校などの状態にあり、社会へつながる機会の少なくなっている若者が、一人また一人と居場所にやってきてくれました。年代に幅はありましたが、同じような背景をもつ彼らが集まり、思いを共有し、やりたいことを自ら考えて過ごすその場は、楽しく居心地の良いものでした。

次第に生き生きとした表情を見せ始める彼らを間近で見ていると、それが必要なものだということはすぐに分かりました。ピアサポートという言葉を知ったのは、それからしばらく後でした。

居場所の必要性は、その頃から当事者の中で認識されていたと思いますが、社会的な認知度は低く、予算がつかない状態が長く続きました。10年経ち、最近になってようやく重層的支援体制整備事業などの枠組みで、予算をつけて、地域に居場所をつくらうという動きが出てきています。

一方で、社会的な動きとなりつつある孤独・孤立防止の取り組みも、当事者の声や思いが十分に反映されているかという点、必ずしもそうではない気がしています。お仕着せの、あるべき姿への変容を求める支援が一層当事者を苦しめるということも、そこかしこで起きています。私たちも自戒を込めて考えていきたいところです。

このWAM助成金を受けての「コミュニティで支え子ども若者の未来を拓く」という事業では、地域共生社会を若者支援×まちづくりという形で目指しています。まちの人、大人がコミュニティを作り、子どもや若者の次の一歩を支え、未来を拓くお手伝いをする。それはやがて、まちを支えることになる。そんな時間をかけた循環をイメージしていました。

けれど、法人内の別の事業で関わる若者や、相談につながってきた若者と、ボランティアや仕事といった形で共に活動したことで、彼らの得意なことや、既に持っている力に改めて気付かされました。支援を受けるだけの存在にするのは勿体ない。若者の力が地域の中で発揮できるコーディネートこそが大切なのだと再認識しました。

事業設計の時点から「社会的処方」という言葉が頭にありました。社会的処方は、社会へつながりをつくることで回復を促進することを表した言葉です。「地域を居場所に」を合言葉に、今年度は社会的処方に必要な受け皿やつなぎ先を開拓する取り組みに注力しました。そうして、土壌づくりは少し進めることができたと感じています。次年度以降、それをどのように活かし、広がりを持たせていけるのか。まだまだやるべきことが沢山あります。

子どもと若者の未来が拓けるよう、大人の応援団をつくること。それが事業開始からのイメージでした。1年経った今、その想いは変わっていませんが、私たちが大切にしたいことをもう少し言葉にする必要があると感じています。大切にしたいのは、子ども若者自身が参画すること。子ども若者の目線・思い・主体性を大切にエンパワメント・アプローチです。お互いにエンパワメントされる関係性が、地域共生社会に欠かせないものではないかと、今改めて感じています。立場を超えて皆が幸せになる道を模索していきたいと思っています。

今年度、当事業は多くの方々との協働の元で実施することができました。この報告書も在宅ワーカーを目指す若者がイラストを書き、デザインしてくれました。互いに力を提供し合うことで素敵な冊子が完成しました。

支え合うことがあたりまえと思える社会。「誰もが居心地の良いまち」という理想を共に目指してください。皆さま、この場を借りて深く感謝を申し上げます。これからも、共に歩んでいけることを心より願っています。

目次

コミュニティで支え子ども若者の未来を拓く	4
ゆるっと若者相談室	6
つなげるアウトリーチ	7
「地域を居場所に」	8
聴くことを深く学ぶ勉強会	11
これまでの成果と展望	12
スペシャルサンクス さまざまな応援のかたち	14
ご案内	15



コミュニティーで支え 子ども若者の未来を拓く

助成金応募の目的

制度のはざまに孤独・孤立状態におかれている子ども若者に支援を届ける方法はないか。この地域でできることを模索するため「コロナ禍における生活困窮者及びひきこもり支援に係る民間団体活動助成事業」に応募しました。当事業の1年間の取り組みをご紹介します。



WAM助成金事業 4つの柱

若者が気軽に相談できる窓口

ゆるっと若者相談室

若者が、悩みを気軽に安心して相談できる場所。

「相談するほどでもないけれどいいのかな。どこに相談したらいいのかわからない。行政機関に行くと相談するのはちょっとハードルが高い」などの不安があっても大丈夫のように、気軽に使える相談ツールとして、LINEでの相談窓口を設けました。



WAM事業とは

WAM助成は、NPO法人など民間の福祉活動等を対象にした助成金制度で、広域的活動への発展を図ることを目指し、地域の様々な主体と連携・協働して展開する事を特徴としています。

私たちは、支援のはざまに置かれている若者との繋がりをつくることや彼らが繋がる地域に「地域共生社会」のベースとなる意識を広げていく活動をすることで、新たな協働とネットワークづくりを目指しました。

つながった人たちの「次の一歩」につなげる

つなげるアウトリーチ

相談室でつながった人のお話を丁寧に向い、状況や希望にあったつながり先につなげます。

対人関係に困難を抱えているようなら、少しずつ人と関わる場を通して自信をつけてもらうボランティア体験を勧めたり、医療機関や行政機関などの支援が必要な人には、同行支援も行いました。



【ローズマインドのわ】対話会

地域を居場所に

福山市民の精神「ローズマインド（思いやり、優しさ、助け合いの心）」を地域に広げ、支え合う社会づくりをしていくための対話会。

若者への理解を深め、彼らの気持ち、立場・事情に目を向ける理解者・支援者を増やし、地域が若者だけでなく、誰にとっても居心地の良い場になっていくことを目指して、会場やオンラインで月1回、地道に継続して開催を行いました。



その人の声からはじめよう

聴くことを深く学ぶ勉強会

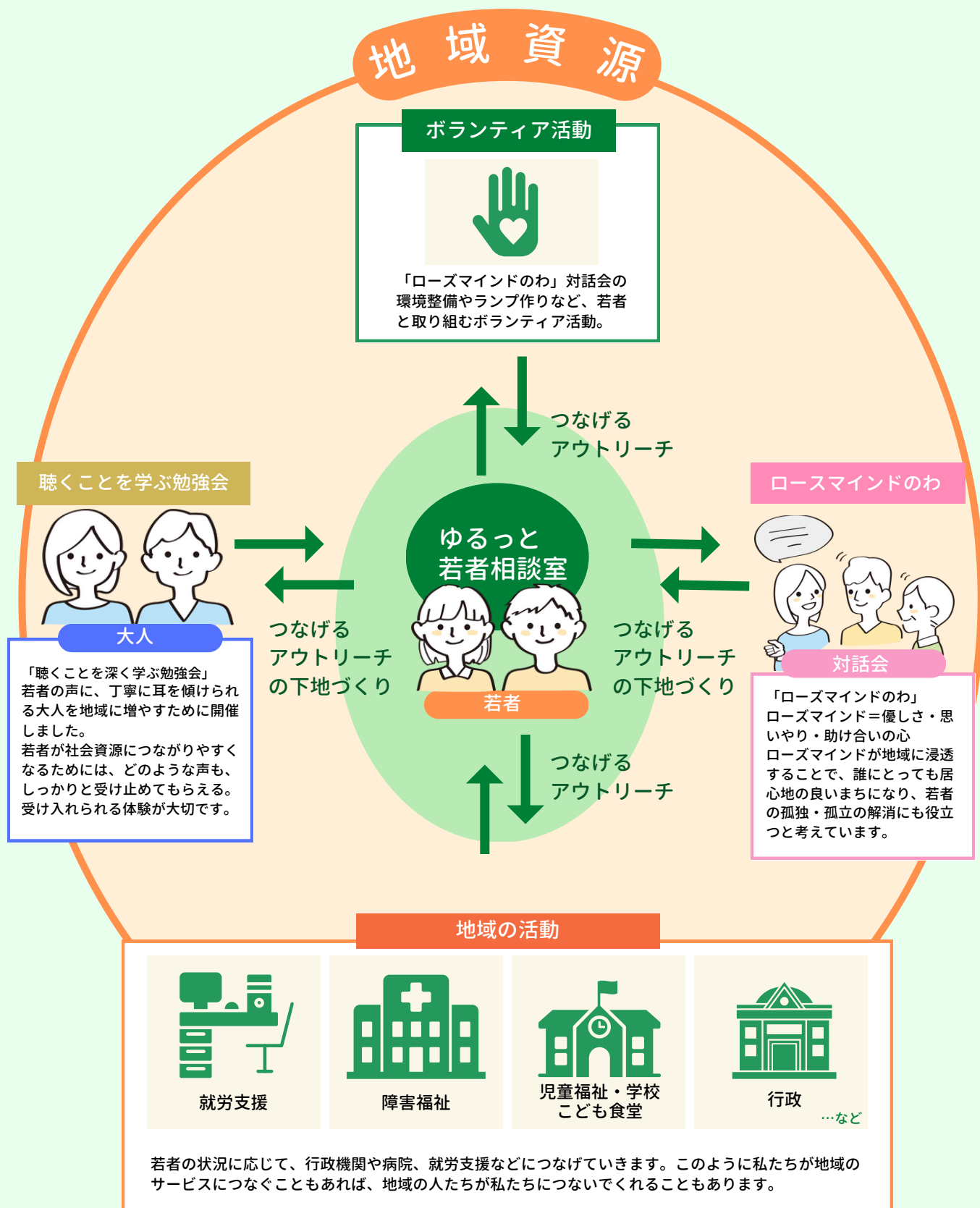
ナラティブ実践協働研究センター（NPACC）の方を講師にお迎えして、ナラティブアプローチを学ぶ勉強会。

傾聴を初めて学ぶ方、単発参加、お休みの方に配慮してオンライン配信も実施しました。

参加者の「学びたい」という気持ちを応援した全6回講座。グループワークを取り入れることで、参加者は体験的に学ぶことができました。



わたしたちが目指す地域支援のかたち WAM助成金事業の全体図



若者が悩みを気軽に相談できる窓口

ゆるっと若者相談室

LINEにて
相談受付中！



事業報告 & 成果まとめ

若者が悩みを気軽に、安心して相談できる窓口として、相談室を開設しました。

「どこに相談したらいいかわからない」「行政機関はハードルが高い」そんな若者のために、まずLINE相談窓口を始めることにしました。

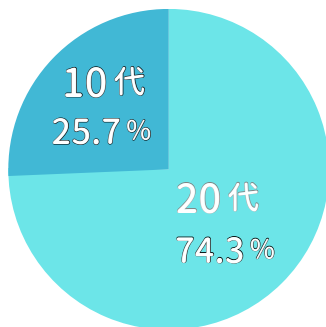
利用は法人事業と連携して繋がった20代の若者が中心でした。高校や近隣市町村の就労支援やFacebookを通じてつながったLINE利用者もいました。

一人一人と丁寧につながり続けることを心がけ、LINEをツールにしたおかげで、利用者の希望にあったつながり先までじっくりサポートすることができました。

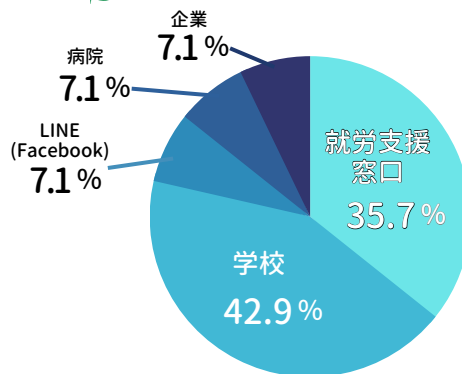


2022年度ゆるっと若者相談室 利用件数データ

利用者の年代



どこから相談窓口につながったのか



年間相談件数

2023年3月10日現在

113
件

相談ジャンル(一部紹介)

就労、進路の悩み
メンタル不調などによる
就労支援対象外の相談

生活の悩み
障害年金の申請の相談
自立の相談など

人間関係の悩み
対人恐怖、家庭不和
不登校の相談など

健康の悩み
医療機関への受診の相談
など



ゆるっと若者相談室
LINE相談カード (左側) としおり (右側)

今後の展望

SNS等の発信による新規利用者は少なく、法人の各事業部からつながるケースが多くありました。事業の対象外でも、若者相談室で対応できたことは、孤独・孤立解消の一助になりましたが、どのように支援を必要とする若者とつながるかが、課題として残りました。今後は居場所をベースキャンプ的に開設することで、更につながりやすい環境をつくっていきたく考えています。

つながった人たちの「次の一歩」につなげる

つなげるアウトリーチ



事業報告 & 成果まとめ

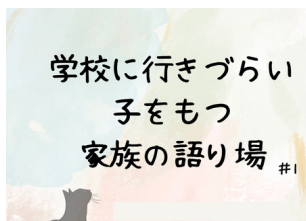
仕事をしたい、社会参加したいという気持ちがあっても、すぐに就労などが難しい方もいます。ゆるっと若者相談でつながった人たちの声を聴きながら、次の一歩についてイメージを共有し、一緒に探すお手伝いをするのが「つなげるアウトリーチ」です。

自立に向けた住まい探しのお手伝いをしたり、医療機関や行政機関への同行をしたり。居場所づくりを一緒に考えたり。ボランティア活動体験を通して、次の一歩に進む自信を少しずつつけていく若者の姿に出会うことができました。

一人一人のニーズを丁寧に聴くことを大切に、利用者との信頼関係を育みました。



ボランティアのシェード作り



学校に行きづらい子をもつ
家族の語り場 チラシ



ボランティアの環境整備



若者座談会

「つなげるアウトリーチ」の多岐にわたる活動



住まい探し

家庭内不和、DV、ネグレクトなどに起因する、住まい探しのお手伝い



医療連携

本人の希望により、医療機関の情報提供や同行支援でお手伝い



行政同行

本人の希望と状況に応じ、関係機関の連携が必要な場合は同行支援も

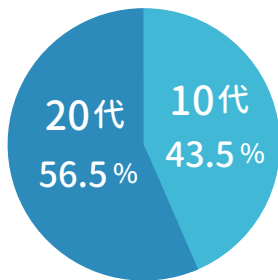


ボランティア活動

対人面の悩み、踏み出す一歩の場として、ボランティア活動を提案

2022年度アウトリーチ 利用件数まとめ

利用者の年代



年間件数

23件

2023年3月10日現在

利用者の声

ボランティア活動に参加して自信ができました



やらなきゃと強制される感じがなく、ゆるっとした落ち着ける雰囲気でのボランティア活動に参加できました



アウトリーチ先

生活福祉課/地域子ども食堂/生活困窮者自立支援センター/
手仕事や野外整備のボランティア/自立に向けた住まい探し/
ハローワーク/自立援助ホーム見学/サポートステーション
...など

今後の展望

ボランティア活動は、他者との交流や、自分が役立つ体験が増え、気持ちや行動の変化につながりますが、まだまだ受け入れ先が少ない状況です。今後は地域の方と更に協働し多様なつながり先を増やしていきたいと考えています。

1年を通しての対話会やコラボ企画

「地域を居場所に」



事業報告 & 成果まとめ

若者を支援していく中で、互いを尊重し、支え合う地域社会づくりが必要と感じ、誰にとっても自分らしく暮らすことのできる地域を目指した「地域を居場所に」事業。

ベースの活動は、傾聴の姿勢や「ローズマインド」の精神を浸透させ、学び合う【ローズマインドのわ】対話会です。場を集い、属性や立場を超えて知り合い、声を大切に聴き合うことを通して、若者の声に耳を傾け、応援できる人が増えるよう活動しました。

また会場開催の際は、地域を変え、その場その場での出会いを通して、広域に展開し、意識を浸透させていくことを目指しました。

戦後復興から福山に根付いた精神 **ローズマインド**

思いやり

優しさ

助け合い

「みんなでつくるばらのまち」
みんなでつくろう、みんなで繋ごう、ローズマインド



福山市のローズマインドの精神と結び付け、地域が居場所になるようにと
思いをこめた対話会
【ローズマインドのわ】

さまざまな場所で【ローズマインドのわ】対話会を行いました



7月9日
鞆の浦



9月30日
福寿会館



11月18日 (野外)
ひゅっげな森の学校



1月7日
骨董&ギャラリー喫茶 蔵

対話会やボランティアに参加した方の声とその様子



仲間と協力してやり
遂げた達成感で胸が
いっぱいです！

ボランティアに参加



野外会場の環境整備をに、若者ボランティアが参加しました



若者ボランティアのランタン作りの様子 野外会場で使用されました



立場の違いにかかわらず、人に優しい街づくりを目指してる人たちがばかりだと感じました

対話会に参加



オンライン開催も隔月で実施
遠方から参加された方もいました



新春企画のお土産を持って、参加者の皆さんと終了後に撮った集合写真

【ローズマインドのわ】コラボ企画&発展企画

🌸 みんなで作ろう！優しさつながる福山ツアー

【ローズマインドのわ】対話をきっかけに生まれたProjectSMILEさんとのコラボ企画。

ローズマインドをテーマに福山の素敵な場所や人を発掘する対話型ワークショップを開催しました。グループワークや街頭インタビューで集まったたくさんの情報から福山の魅力を再発見。ローズマインドが感じられるお店、人を紹介する動画も制作することになりました。



ワークショップの様子

🌸 「人と出会う旅 福山」動画



法人の別事業と連携した動画とWebサイト制作

🌸 【ローズマインドのわ】Webサイト



DX化人材育成事業

若者の新しい仕事の形を目指した「DX化人材育成事業」受講生の作品

～「地域共生社会」を考える～

『さとにきたらええやん』 上映対話交流会

🌸 事業報告&成果まとめ

「地域共生社会」を考えることをテーマにした上映対話交流会。

大阪釜ヶ崎にある子ども支援施設「こどもの里」を舞台にしたドキュメンタリー映画『さとにきたらええやん』を鑑賞後、参加者同士で交流し、グループに分かれて、映画の感想やテーマについて活発な対話を行いました。

対話では、互いを尊重し心理的安全性を守ることを約束。対話において意識する姿勢も伝えました。

今後のネットワークづくりを望む声も多く聞かれました。



「ローズマインドのわ」
拡大版！



上映会の様子

🌸 参加した方の声



参加した人たちとの繋がりが、縁がつながっていけば、と感じました。いろいろな方とお話できて学びになりました。

🌸 参加人数

29人

たくさんのご参加
ありがとう
ございました！



グループでのテーマ対話の様子

今後の展望

若者支援を行っている、関係機関との協力関係はできていきますが、一方で、地元企業、自治体、まちづくりを中心に行う団体などに出会う機会は少なくなりがちです。若者の一歩を支えるために、若者が自力で行ける範囲の場所で、体験の機会を提供してくれる協力者を募るため、また地域で優しく見守る大人を増やすために対話会を開催してきました。ローズマインドという地域に存在する言葉を合言葉にした対話会は、つながりやすさ、受け入れられやすさを感じられました。今後も地道に続けていき、更に輪が広がるように取り組んでいきたいと思ひます。

聴くことを深く学ぶ勉強会

事業報告 & 成果まとめ

ナラティブ実践協働研究センター（NPACC）の方を講師にお迎えし、ナラティブアプローチをベースにした傾聴の勉強会を開催しました。

一般の方から支援職の方まで、幅広く参加された全6回講座。参加しやすいよう単発参加も可能にしました。また全てのアーカイブ配信も実施し、参加者の「学びたい」気持ちを後押ししました。

参加者同士で交流を深めることができるようにと、2回は会場開催にし交流会も実施しました。

勉強会では、講義だけでなく、やってみる時間を多く取り入れました。繰り返し対話のワークをすることで、体験的に掴むことができたこと好評でした。

参加者からは、深く理解していくため、継続的に学び合う場を持ちたいと声が上がっています。

皆の暮らす地域が、誰にとっても居心地の良い場所になるように、相手の声を大切に聴くための学びを続けていきたいと考えています。

ナラティブ・セラピーをベースに聴くことを学ぶ

「ナラティブ・セラピー」とは一人一人の人生の歴史やその人の持つ価値観を大事にし、誰一人責めることない対話を重ね、人生の選択や考え方の新しい可能性をともに探していくカウンセリングアプローチです。NPACC（ナラティブ実践協働研究センター）は、このカウンセリングアプローチに魅せられ、出会った数人のカウンセラーたちから生まれました。

「聴くことを深く学ぶ」今回の講座は、ナラティブ・アプローチをベースに聴くことを体験的に学ぶため、講義を聞いた後、ペアになって対話をしてみるワークを行いました。何気ない話題から入り、「その人の本当の声」や「大切な歴史」に触れるプロセスを体験。貴重な学びだったと感想が寄せられました。

受容的なあたたかい場が心地よいワークショップで、共生するにはこのような姿勢が大切だと感じました。



NPACCロゴ



ナラティブ・セラピーの講師陣
左から横山克貴さん、国重浩一さん、白坂葉子さん

勉強会の内容と様子

9 18 日	対面 自分のことを話すということ そして 聴き手がいるということ
10 7 金	オンライン その人の話からはじめること の大切さ
11 13 日	対面 その人の声を受け取る
12 2 金	オンライン なにが人の話を聴くのを 難しくさせるのか
1 6 金	オンライン 傾聴、共感、主訴について
2 3 金	オンライン 若者の声からはじめよう ロール・モデル・プレイ



オンラインでの勉強会の様子



9月18日 勉強会



11月13日 勉強会

参加した方の声



お互いが気遣い、向き合う
という空間が、とても心地
よかったです



話をする、聴くの体験で新たな発見
もあり、自分を掘り下げるいい機会
となりました

この勉強会に参加しようと思った理由



相談の仕事をしていて、初心に戻り改めて聴く
ことについて学びなおしたいと思ったからです

治療的会話に興味があり、参加しました

遠方から福山に来て、この地域の人との関わり
あいのヒントになればと思い参加しました

参加人数

204人

たくさんのご参加
ありがとう
ございました！

今後の展望

参加者のアンケートには「気づきがあった」「講義とワークのバランスが良かった」「ワークでしっかり体得できる構成になっていた」などの感想が寄せられました。同時に、しっかりと落とし込むには時間も必要と、継続した学びの機会を望む声が多くありました。今後は、持続可能な学び合える場づくりに取り組みます。

WAM助成金事業 今年度の成果とこれからの展望

今年度全体の成果と課題

成果

- 若者支援の応援者となってくれる市民と多く出会えた
- 制度のはざままで支援機関につなげることが難しい若者の相談を受けることができた
- ボランティア活動などに繋ぎ、若者の一歩を支え、適切な社会資源につなげることができた
- LINE相談はつながりを維持する存在として機能した
- 他団体と連携することで、若者にボランティアや仕事の機会を提供できた
- 若者自身がこの事業のチラシやWebサイト制作を担ってくれた

課題

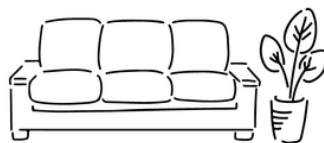
- 新規利用が少なく、いきなり知らないLINEに相談することは難しいと感じられた
- 若者がまず最初につながりたいと感じるような仕組みが必要
- 受け皿となる市民を増やすには、更に若者支援への理解を広め、機運を高める必要がある
- 個人情報を守りながら、若者への理解を深めるための呼びかけを行うことに難しさがある
- 寄付を大きく増やすことができなかった

次年度の取り組み



若者相談の仕組みづくり

雑談から自然に相談が始まるような仕組みをつくる



居場所の開設

若者が居て良いと感じる居場所を開きつながりを作る



社会との接点をつくる

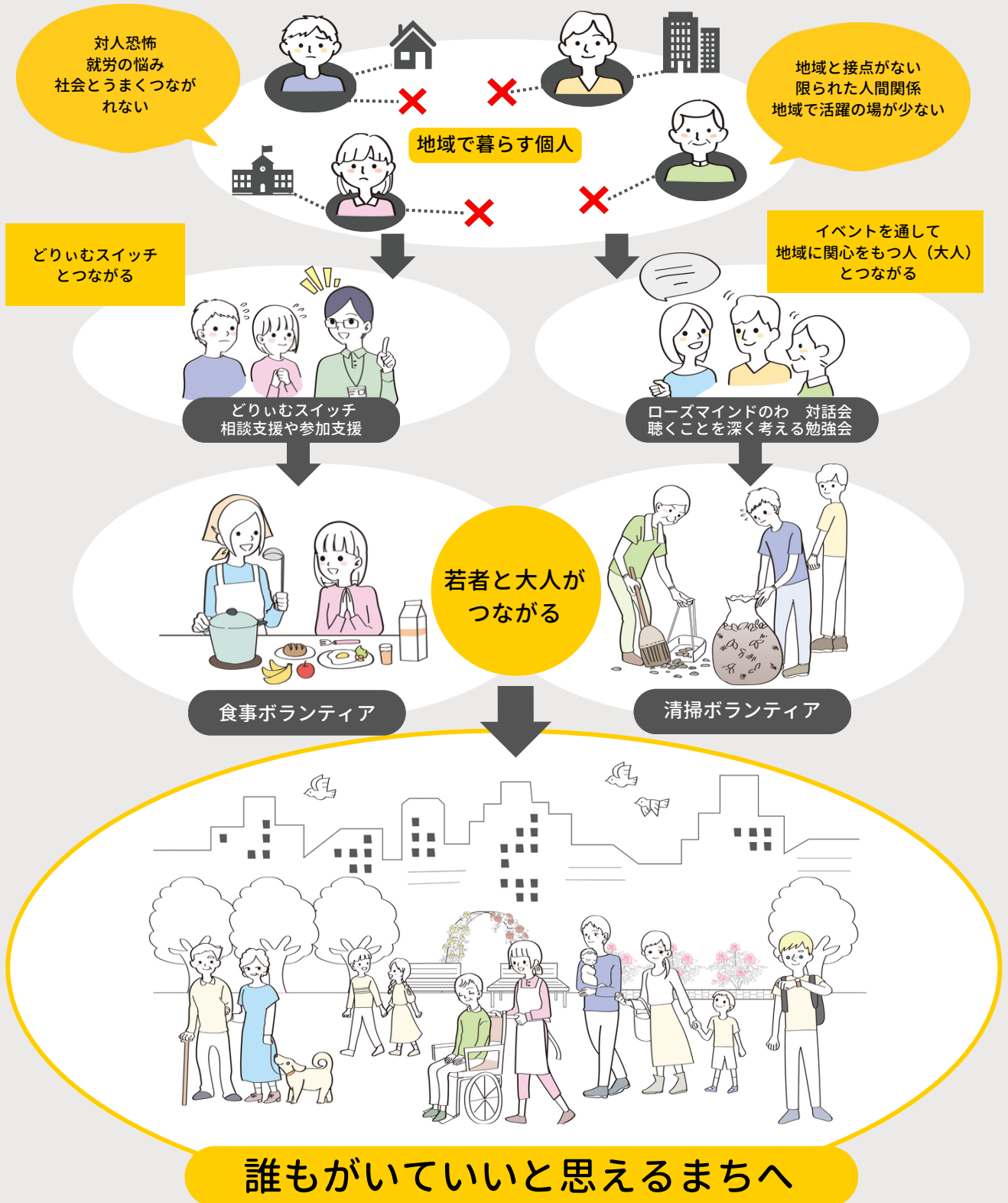
在宅ワークやボランティアを通し若者と社会の接点をつくる



理解ある市民を増やす

イベント等を通じて若者支援に理解ある市民を増やす

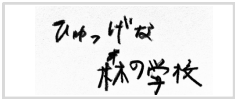
長期ビジョンとさらにその先にある未来図



地域共生社会を目指して

専門相談員のいる事業所には「対象」という条件があることが多く、支援のはざままで対象外とされてしまう方が多くいます。また「支援」という言葉には「支援する側」「支援される側」という分断が生まれやすくなります。地域共生社会では、はざまや分断を超えて、対等な立場を維持しながら、支え合うことが目指されます。支え合いは、小さなことから始められると私たちは考えています。料理が好きなら子ども食堂のお手伝い。街に関心があれば清掃ボランティアというように、既に支え合いの活動に参加してる方も地域には沢山おられます。その多様なテーマ型の支え合い活動がコラボすれば、相乗効果が生まれるはずですよ。

個の時代、孤独・孤立は、ふとしたタイミングで自分の身に起きるかもしれません。興味関心を入りに、人や活動と接点をもつことは、人生に豊かさや幸せ、安心感をもたらしてくれるのではないのでしょうか。誰もがいていいと思えるまちは、皆が楽しみながら参画した先にあるのだと私たちは考えています。



さまざまな応援のかたち

寄付金で若者を応援

NPO法人どりいむスイッチは、すべての子が自分らしく生きられる社会を目指して、子ども若者支援を行う団体です。特に、制度のはざまに置かれた子ども若者を支える支援の充実を目指しています。それらの活動には、支援に自由に使えるための資金が必要です。ぜひサポーターになって応援してください。

クラウドファンディングサイト「Congrant」よりお手続きください。下記QRを読み込むと「Congrant」に移動します。



単発寄付
はこちら



継続寄付
はこちら



買い物で若者を応援

私たちが会える若者は、金銭的に厳しい状況に置かれていることが多く、食料や生活用品を届ける活動をしています。「ほしいものリスト」からご購入いただいたものを、私たちがお届けします。



物品寄付で若者を応援

家具家電を購入する費用がない状態で家探しを余儀なくされる若者もいます。まだまだ使える家具家電、買ったけど着なかった洋服など、捨てるには勿体ない物があればお声掛けください。



詳細はこちら
Amazonほしいものリスト
のページに移動します



物品寄付の詳細はこちら



仕事を依頼して若者を応援「Dシナジー」

Dシナジーとは、様々な理由から外で働くことが難しい若者が、在宅ワークで成長を目指す事業です。お仕事の依頼が、プロと共に経験を積む機会になります。若者を応援する新しいカタチです。



ボランティア、協力者として応援

ボランティアとして私たちの活動を支えていただくこともありますが、若者ボランティアを受け入れていただくこともあります。さまざまな関わり方があります。



お仕事の依頼はこちら
Dシナジーページのお問合わせ
フォームから依頼できます



それぞれのページか以下のメールアドレスへ▼



info@dreamswitch.or.jp

どりいむスイッチの委託事業等

国や県の委託料や補助金をいただき継続的に取り組んでいる事業
(公的な制度を活用して支援を届ける取り組み)

ふくやま地域若者 サポートステーション



15歳～49歳までの方を対象とした、厚生労働省委託の就労支援事業です。キャリアコンサルタント等のスタッフが相談・セミナー・職場体験支援等を提供しています。

☎ 084-959-2348
✉ info@fukuyama-sapo.org

退所児童等アフターケア事業所 カモミール



児童養護施設等で暮らしたことのある若者の支援を行っています。何でも気軽に相談してもらえる関係づくりを、広島県内の児童養護施設とも連携して広がっています。

☎ 084-959-3278
✉ info@hiroshima-chamomile.jp

自立援助ホームエクリュ



さまざまな事情から、家族と暮らせない女の子のための自立援助ホーム。2022年6月開所。6名定員。働きながらお金を貯めて生活する子の暮らしを支えます。

☎ 084-959-6158
✉ ecru@dreamswitch.or.jp

どりいむスイッチの2022年度のプロジェクト

助成金や寄付金で取り組んでいる自主事業
(制度のはざまを埋める取り組み)

ゆるっと若者相談室 つなげるアウトリーチ

「ゆるっと若者相談室」は15歳～39歳を対象とした、様々な悩みを相談できる窓口です。つながりにつなぐためにも、まず関係づくりを大切にしています。



LINE相談はこちら
お気軽にご相談ください



ローズマインドのわ対話会

「ローズマインド」の精神が地域に浸透することを目指し対話会を開催しています。理解し合い、尊重し、支え合える地域社会を目指します。



詳細はこちら



聴くことを深く学ぶ勉強会

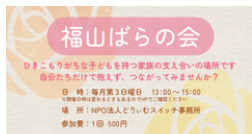
ナラティブ・アプローチをベースに、傾聴の姿勢を学びます。グループワークを中心にした体験的に学ぶ勉強会です。



詳細はこちら



福山ばらの会



ひきこもりがちな子どもを持つ家族の支え合いの場。学校に行きづらい子の家族の会も、今年度は単発で開催しました。



詳細はこちら

Dシナジー



様々な理由で外で働くことが難しい若者と、どりいむスイッチが共に取り組む事業。リーフレット、Webサイト、動画の制作実績があります。



詳細はこちら

DX化人材育成事業



働きたい若者に
在宅ワークという道を

コロナ禍で就労に影響を受けた若者が、新たなスキルを身につけて、在宅ワーカーを目指した事業です。



詳細はこちら



特定非営利活動法人どりいむスイッチ



〒720-0812
広島県福山市霞町一丁目8番15号 霞町ビル2階
☎ 084-971-4865
✉ info@dreamswitch.or.jp



どりいむスイッチ
公式ホームページQR



私たちのMISSION

社会参加に困難を抱える子ども若者とその家族が
主体的に幸せに生きていくことに貢献するため
専門性をもって関り、社会への架け橋となる